授業科目	高齢者支援学Ⅰ					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期
担当教員	荒木　剛、吉原　悦子、石井　美紀代、杉本　有紗、山田　志麻、渡邊　和美						
授業概要	各分野の実務家教員が、自らの実践経験を踏まえて、以下の内容について教授する。 １．アクティブシニアが活動的に生活し続けるための支援方法について、看護・福祉・栄養の各専門分野から解説と実技指導を行う。 ２．　多職種連携に係る知識・技術について解説と実技指導を行う。 ※講義と PBL（課題解決型学習）を行います。 ※看護学科、栄養学科、福祉学科の合同授業となります。 ※開講時期は、別途お知らせいたします。 ※授業の運営上、履修人数の上限を各学科 30 名とします（30 名を超えた場合は選抜を行います）。						
授業形態	講義			授業方法	PBL		
学生が達成すべき行動目標							
標準的レベル	【福祉学科担当講義】 １．介護保険制度の内容と動向について説明できる。 ２．地域包括ケアシステムの背景、考え方、具体的展開方法について説明できる。 ３．高齢者の心理的発達について説明できる。 ４．高齢者の社会参加とその臨床心理学的意義について説明できる。 【栄養学科担当講義】 １．高齢者の栄養状態の評価・判定について説明できる。 ２．高齢者の低栄養・過栄養と高齢者に特有な病態との関連について説明できる。 ３．高齢者が健康でアクティブな生活を維持増進するために必要なエネルギー及び栄養素とその食事バランスについて説明できる。 【看護学科担当講義】 １．高齢者が健康でアクティブな生活を維持増進するために、高齢者の生活機能を評価する意義が説明できる。 ２．介護予防の観点から高齢者の維持すべき運動機能について説明できる。 ３．介護予防の観点から高齢者の維持すべき摂食・嚥下機能について説明できる。 ４．高齢者の自立した生活機能と認知力の関係について説明できる。 看護・福祉・栄養分野の専門性と特徴を活かした高齢者（アクティブシニア）への支援について説明できる。また、その際に必要な多職種連携に係る知識・技術を説明できる。						
理想的レベル	看護・福祉・栄養分野の専門性と特徴を理解し、高齢者（アクティブシニア）への支援について具体的に検討できる。また、その際に多職種連携に必要な知識・技術を活用し、実践できる。						

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		

小テスト		
レポート	20%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	30%	
レポート外の提出物		
その他	50%	講義の受講態度、PBL 時の意欲・態度・姿勢で評価します

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	－	DP3	○	DP4	○	DP5	－	ナンバリング	NU10605J WE10605J NT10605J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
当該内容についての予習・復習	4

授業計画	
第 1 回	【看護学科担当講義】（担当：石井、吉原） 実務家教員としての実務経験を活かし、以下の内容を教授する。 １．高齢者の生活機能を評価する意義 ２．高齢者総合的機能評価（ＣＧＡ）の概要と評価の視点 ３．基本動作・ＡＤＬ・ＩＡＤＬの見方 ４．活動と認知力の関係性 ５．高齢者の摂食・嚥下機能
第 2 回	【栄養学科担当講義】（担当：山田、渡邊） 実務家教員としての実務経験を活かし、以下の内容を教授する。 １．人体の構成成分と栄養状態の関連 ２．高齢者における低栄養・過栄養の問題 ３．高齢者の栄養管理
第 3 回	【福祉学科担当講義】（担当：荒木、杉本） 実務家教員としての実務経験を活かし、以下の内容を教授する。 １．介護保険制度の内容と動向 ２．地域包括ケアシステムの背景、考え方、具体的展開方法 ３．高齢者の心理的発達 ４．高齢者の社会参加とその臨床心理学的意義
第 4 回	【3 学科合同による演習】（担当：全教員） 実務家教員としての実務経験を活かし、3 学科合同でアクティブシニアが活動的な生活を送り続けるための支援について実技指導を行う。
第 5 回	【3 学科合同による演習】（担当：全教員） 実務家教員としての実務経験を活かし、3 学科合同でアクティブシニアが活動的な生活を送り続けるための支援について実技指導を行う。
第 6 回	【3 学科合同による演習】（担当：全教員）

	実務家教員としての実務経験を活かし、3 学科合同でアクティブシニアが活動的な生活を送り続けるための支援について実技指導を行う。
第 7 回	【3 学科合同による演習】（担当：全教員） 実務家教員としての実務経験を活かし、3 学科合同でアクティブシニアが活動的な生活を送り続けるための支援内容の発表について実技指導を行う。
第 8 回	【3 学科合同による演習】（担当：全教員） 実務家教員としての実務経験を活かし、3 学科合同でアクティブシニアが活動的な生活を送り続けるための支援内容の発表について実技指導を行う。
テキスト	なし
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書・教材：適宜紹介する
課題に対するフィードバックの方法	フィードバックはプレゼンテーションの準備や発表の際に行う
学生へのメッセージ・コメント	高齢者支援に必要な基礎的知識を必要とする 新聞や関連雑誌等を通して、高齢者の保健・医療・福祉に関する諸問題への理解を深めておくこと